

アルミシャッター 252A02型 取付説明書

このたびはアルミシャッター 252A02 型をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品はキャビネットにゴミが進入しにくいように設計されたカセット方式のアルミ合金製シャッターです。
この他の目的には使わないでください。取り付けの際は、この取付説明書をよくお読みになってから、作業を始めてください。



⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをするおそれがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

■ 説明図の寸法について

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や、材料そのものの変形等を考慮していません。作業においては、このことをご考慮の上、切断等の加工を行ってください。

- 1 部品と製品が組み合わされた図面上の寸法は、部品の寸法です。加工寸法でないのをご配慮ください。キャビネットだけの図は、キャビネットの寸法を表しています。
- 2 寸法のうち「以内」、「以下」を含んだ寸法は、その範囲ならどこにでも取り付けられることを表していますが、なるべく、表示寸法を採用するようにしてください。何かの都合で、その寸法では取り付けできないときは、その側にだけその範囲で動かせる、とご解釈ください。
- 3 ~ を含んだ寸法は、両端の数字を含んでいます。この間の数値はどれを採用されても問題ありません。

■ 取付説明書の説明範囲

本書をお読みいただければ、外国語版取付説明書をお読みいただかなくても良いように構成されております。

■ 免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、弊社の影響の及ばない多くの要素から成り立っています。したがって弊社ではこれらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責を負うことはできません。
ご理解のうえ、ご了承いただくようお願いいたします。

■この製品について

1. この製品の特長

本アルミシャッター 252A02 型は、アルミ合金製で軽量なカセット式シャッターです。
構成部品が少なく、取り付けやメンテナンスに優れています。

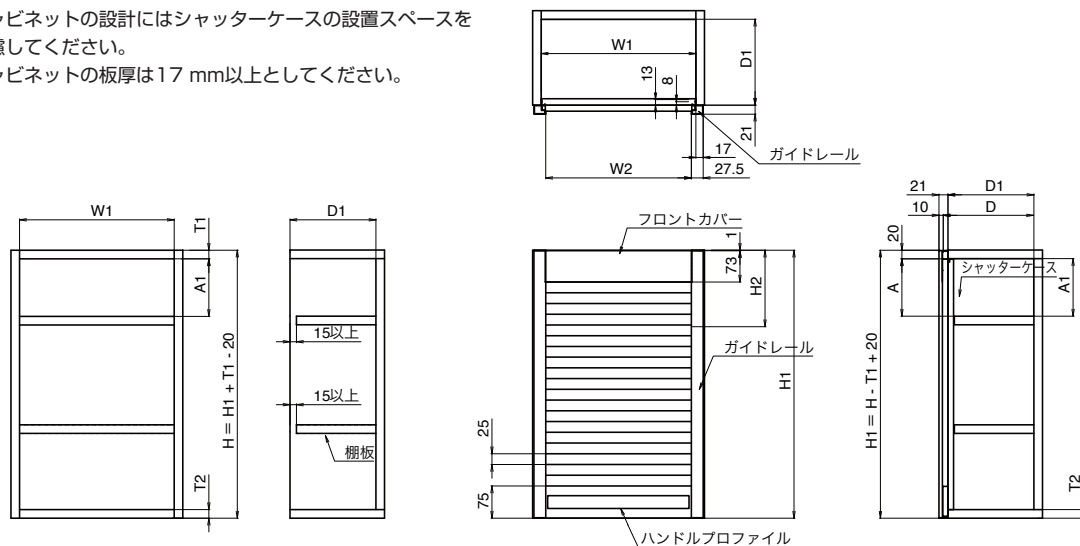
2. 製品仕様 (使えるキャビネットの範囲)

キャビネットの寸法は、下図の範囲におさめてください。

■キャビネット寸法

キャビネットの設計にはシャッターケースの設置スペースを考慮してください。

キャビネットの板厚は17 mm以上としてください。



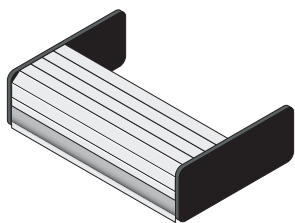
品番	252A02W60H92	252A02W90H120	252A02W60H126
シャッターケース高さ A	120	120	133.5
シャッターケース用スペース A1	121	121	134
シャッターケース奥行 D	310	310	310
キャビネット奥行 D1	300以上		
キャビネット内寸 W1	562	862	562
有効開口 W2	541	841	541
キャビネット高さ H	計算による		
ガイドレール高さ H1 (端末キャップセット時の全長)	922	1202	1262
シャッター全開時の引残量 H2	165	178	178
天板厚 T1	設定		
地板厚 T2			

3. 作業前に確認いただくこと

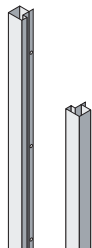
内容物の数と状態の確認を行ってください。

商品が届いたらすぐに梱包を解き、内容物の数と状態の確認を行ってください。

不足や不備があったら使用せずに、直ちに販売店様または当社までご連絡ください。



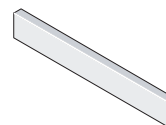
(1) シャッターケース1個



(2) ガイドレール左右各1本



(3) 端末キャップ左右各2個



(4) フロントカバー1枚

■作業手順

1. ガイドレールを切断します。

ガイドレールをキャビネットの高さに応じて、切断してください。

- (1) ガイドレールは先端に切り欠きがある方が上側です。
上側はそのまま、下側を切断してください。
- (2) ガイドレール下側リブ部分を切り欠いてください。
(図1参照)

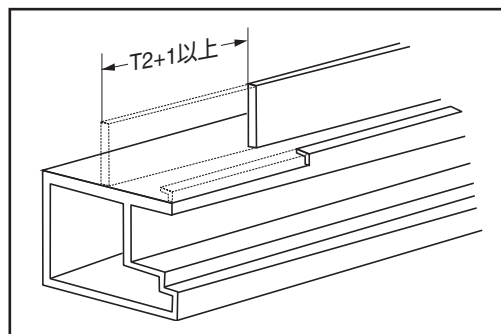


図1

- (3) レールを切断したとき、その使う側の端から 40 mm 以内に取付穴が残らないことがあります。
この場合は、端から 40 mm のところに、径 5 mm の穴を開けてください。
- (4) 切断面や加工面の切粉やバリおよび返りがないように、きれいに掃除してください。
これが残ると、走行のための操作力が増えたり、騒音が発生したりします。
- (5) 端末キャップを取り付けてください。

使用工具

- <金属用のこぎり>
- <きり径 5 mm>

2. シャッターケースを組み込みます。

シャッターケースをキャビネットに組み込んでください。

- (1) シャッターケースをキャビネットの前方から静かに差し込んでください (図2-1)。
- (2) シャッターケース前端的約 100 mm は、キャビネットから出た状態にしておいてください (図2-2)。

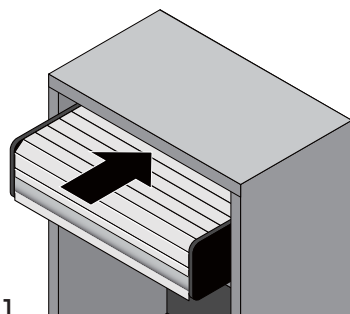


図2-1

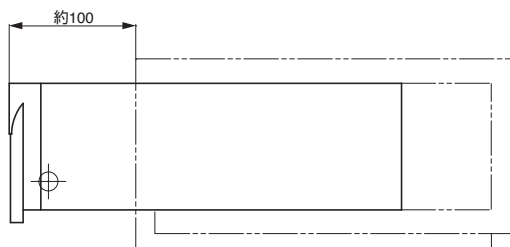
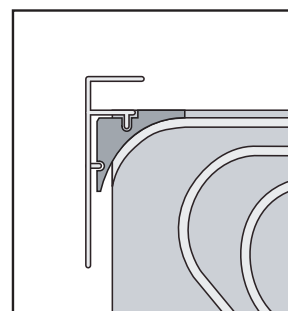
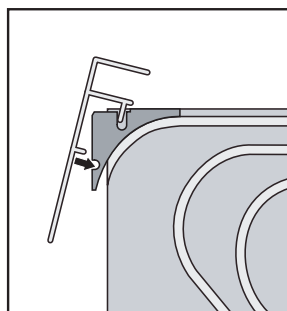
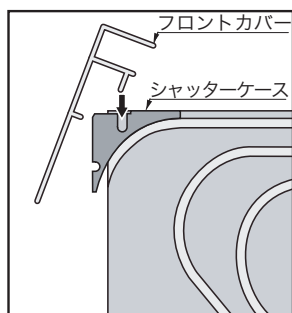


図2-2

3. フロントカバーを取り付けます。

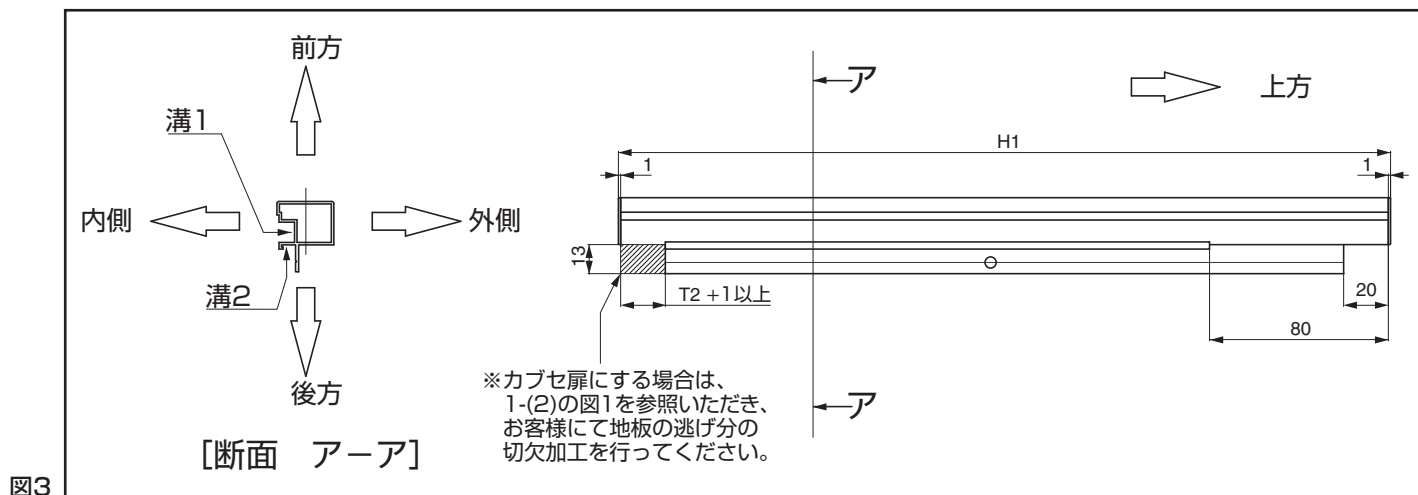
フロントカバーをシャッターケースの溝に組み込んでください。



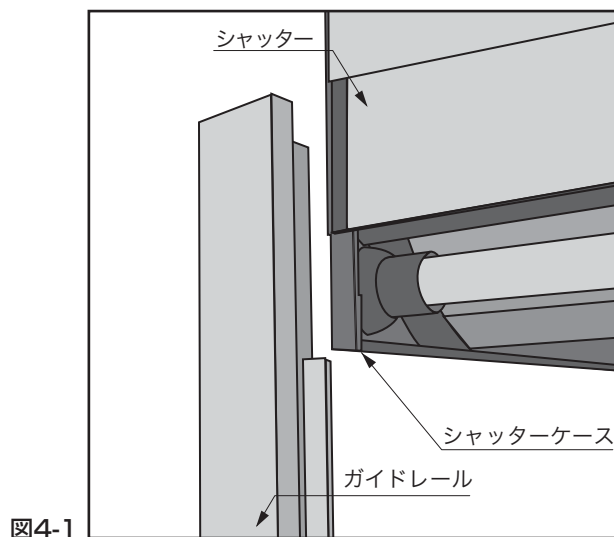
- (1) フロントカバー裏側の中央フランジを、シャッターケースの先端上側の溝に引っ掛けてください。
- (2) フロントカバー裏側の下のフランジが、シャッターケースに触れるくらいに、フロントカバーを垂直に立ててください。
- (3) フロントカバー裏側の下のフランジをシャッターケース先端前側の溝に差し込んでください。

4. ガイドレールをシャッターケースに組み込みます。

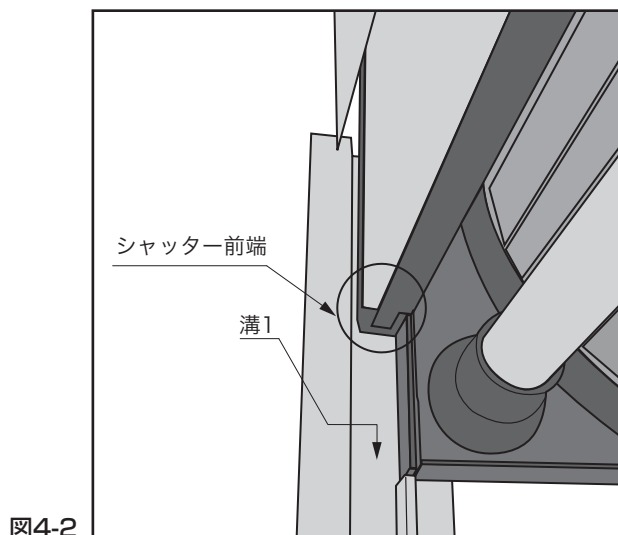
ガイドレールをシャッターケースに組み込んでください。
 ガイドレール各部の名称は、図3によってください。
 ガイドレールを下方からシャッターケースへ差し込んで下さい。



(1) シャッターの先端を 80 ~ 100 mm、下（閉じる側）に引き出してください（図4-1）。



(2) 引き出したシャッター前端を、ガイドレールの溝1に差し込んでください（図3断面ア-ア及び図4-2）。



- (3) シャッターケースの突起 A にガイドレールの溝 2 を、かぶせるようにしてガイドレールを下方から差し込んでください。
 (図 4-3 および 断面イーイ)

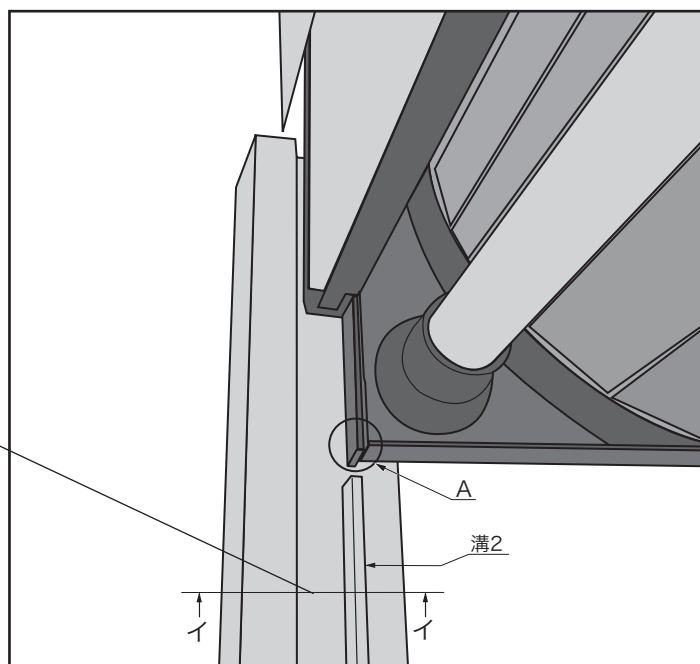
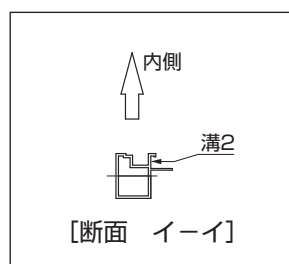


図4-3

※突起 A に溝 2 を必ず差し込むこと

- (4) ガイドレール上端がキャビネット上端と一致するまで差し込んでください (図 4-4、図 4-5)。

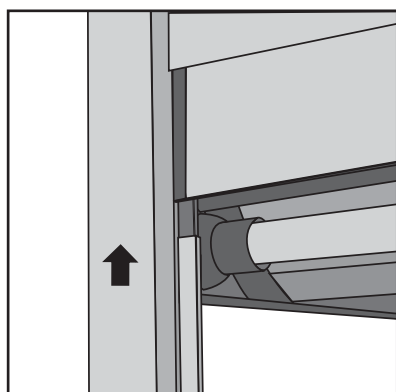


図4-4

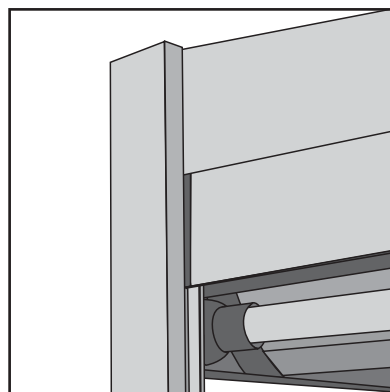


図4-5

シャッターケースをキャビネットの中に差し込んでください。

- (5) ガイドレールがシャッターケースから抜け落ちないように注意しながら、シャッターケースをガイドレールごとキャビネットに差し込んでください (図 5-1)。

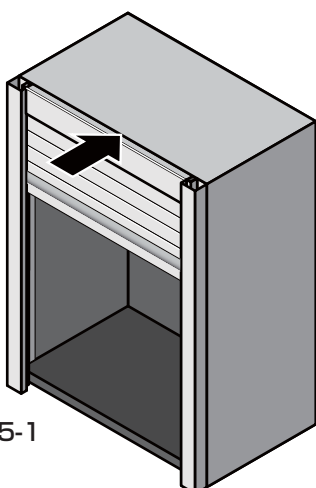


図5-1

- (6) ガイドレールの穴から、呼び 4.5 のタッピンねじで、ガイドレールをキャビネットに固定してください (図 5-2)。

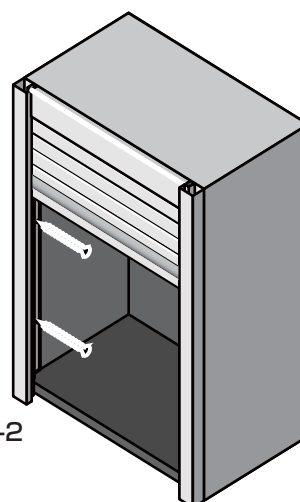
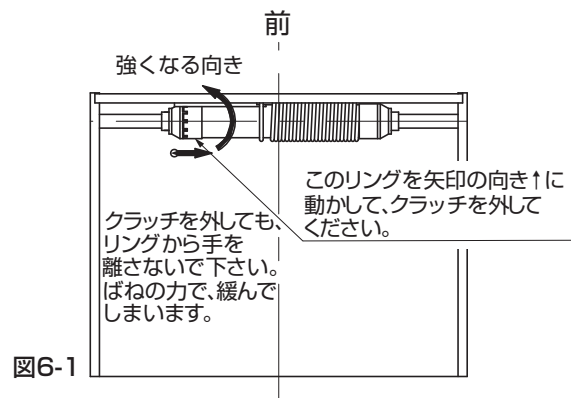


図5-2

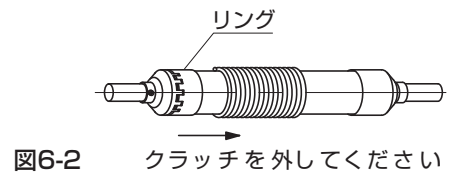
5. シャッターの操作力を調整します。

(1) 図 6-1 は、キャビネットの正面下側から見た図です。



(2) リングを横にスライドさせ、クラッチのかみ合いを外してください (図 6-2)。

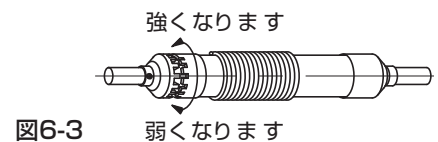
※ このとき、移動したリングはばねの力ゆるむ向きに回転しようとして、リングが回転しないように手で押えていてください。



(3) ドラムを押えながらリングを回転させてください (図 6-3)。

[1] 強くするときは、図 6-1 の矢印方向(強くなる向き)に回してください。

[2] 弱くするときは、図 6-1 の矢印と逆の向きに回してください。



(4) 力の調節が終わったら、その向きのままリングをスライドさせ元通りにかみ合せてください。

6. よくあるトラブルの解決方法

●シャッターが開閉するとき、大きな音がする。

考えられる原因は 2 つあります。

考えられる原因 1：フロントカバーがシャッターとぶつかっているかもしれません。

解決方法：フロントカバーがシャッターケースに確実に取り付けられていない場合にこのようなことが発生します。

(1) フロントカバーの位置を確認してください。

(2) 「3. フロントカバーを取り付けます。」のように、フロントカバーが取り付けられているか確認してください。

考えられる原因 2：シャッターケースがキャビネットに正しく収まっていないかもしれません。

解決方法：ガイドレールがシャッターケースに正しく組み込まれていない場合にこのような事が発生します。

「4. ガイドレールをシャッターケースに組み込みます。」のように、シャッター前端が溝 1 に、突起 A が溝 2 に正しく組み込まれているかどうか確認してください。

○上の方法で直らない時は、下記の場所にご連絡ください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/ 2016.12 0448-4